

新川会通信

第44号

# すまいる

発行  
社会福祉法人新川会

〒930-0362  
上市町神田字七郎谷 1-32  
Tel (076) 472-1118  
Fax (076) 472-5391  
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp  
HP <http://www.niikawakai.jp/>

発行責任者 久保 進

土日のお昼ご飯の買い物は  
任せてね。



毎日のモーターは安全運転です。



チームワーク抜群！

「いってきます。」「いってきます。」  
「いってらっしゃい。」  
世話人さんのパワー満点の朝食と笑顔に送り出されて、一日のスタートです。今日が良き日でありますように。明日を楽しみにできますように。

「働くと、隣の人(人偏)のために動くことです。会社、福祉事業所、共生型事業所と行き先は各々ですが、皆、誰かの役に立つために出勤していきます。」

帰宅後は、入浴、洗濯、掃除など身の回りのことをして生活を調べて、世話人さんが心を込めて作ってくださった夕食をいただき、お腹も心もホッと一息。夕食後は、思い思いに過ごされ就寝となります。  
富山型から始まった地域づくりは、共生型として新しい制度を生み出しました。共生社会とは「お互いさま」の文化だと思えます。グループホームでの生活も、自分と相手のお互いさまであり、相手を大切に思うことが自分を大切にすることにつながります。そして地域へ踏み出していく力を蓄え一歩二歩と歩んでいく時に安心できる家でありたいと思っています。

「ただいま。」「ただいま。」「ただいま。」  
利用者の皆さんがそれぞれの日中活動先から帰宅します。  
「おかえりなさい。」  
世話人さんが暖かく出迎えてくださいます。

## 今日を楽しむ 明日を夢見る

共同生活支援室 施設長 藤木和美

# 楽しんでます♪ 教室活動

四ツ葉園では、外部講師に来ていただき四つの教室活動を実施しています。利用者の皆さんは、四月に自分の興味がある教室をいくつでも選んで一年間参加することができます。毎月一回のペースで余暇時間に行われる教室は、利用者さんにとって園生活での潤いや張り合いにもなっています。今回は、各教室活動の講師の先生にインタビューして、先生方の思いをお聞きしました。

## 特集

### 四ツ葉園

## 絵画教室

絵画教室は、講師の池田るみ子先生が自ら四ツ葉園に「絵画教室をさせていただきたい」と伝えて下さったことがきっかけで始まりました。池田先生の活動のモットーは、楽しく絵を描いたり物を造ったりすることです。個別に絵を描くだけでなく、七夕やクリスマスのは折紙で飾りを作って模造紙に貼り、皆で一つの作品を作ります。池田先生が準備してくださる課題に、参加する利用者さんは自分の発想を自由に表現して楽しんでいきます。教室での作品は、食堂など園内に掲示したり集会で展示したりして、場を華やかに彩ってくれています。



オリジナルの飾りを  
作って個性を發揮。



★池田先生から一言★  
毎回利用者さんが楽しみに待っていてくれるのが嬉しいです。

## 書道教室

書道教室は四ツ葉園開設年から始まり、安達維玖子先生にお世話になっています。安達先生の活動のモットーは、書道を通じて一般社会の中で必要な事を学ぶことです。字を書くだけでなく、落ち着いて字を書くこと、相手を思いやること、社会に役立つことを学べるようにしていきたいとおっしゃいます。先生は毎月利用者さん一人ひとりに合わせたお手本を準備してくださいます。参加する利用者さんは自分で下敷き、半紙、文鎮、墨汁を出して準備します。漢字を書くことが好きな方、ゆっくり落ち着いて書くことが好きな方、それぞれが黙々と半紙に向かい、書き上げた時には笑顔が見られます。



自分の時間に  
集中！



★安達先生から一言★  
一人の利用者さんが他の利用者さんの片付けも行って助け合っていることがすばらしいです。

# 生け花教室

生け花教室講師の金山香鳳先生の活動のモチーは、花からパワーをもらって楽しむ、癒される、季節を感じる事です。毎月その季節に咲く花、剣山に挿す華やかな花を準備してください。参加する利用者さんは色とりどりの季節の花を手にとって生けることを楽しんでいきます。出来上がると園内に展示して他の利用者さんにも作品を見てもらい、皆が花で癒されています。金山先生は、利用者さんの中から他の利用者さんに教えられる人を育てたい、という壮大な思いも教えていただきました。



完成した生け花を見つめて大満足。



★金山先生から一言★  
「次いつ来る?」「今日はどんな花?」と自分が必要としてくれることが嬉しいです。

# 茶道教室

茶道教室は四ツ葉園開設年より行われ、加藤則子先生に教わっています。加藤先生の活動のモチーは、お茶を楽しんでもらうことです。その人なりのお茶ができれば良いとおっしゃいます。参加する利用者さんはお点前とおもてなしの心を学び、先日も他の利用者さんを招待してお茶をたて、腕前を披露しました。お点前では、熱いお湯を扱うことも慎重に行い決して慌てません。お茶をいただいた方は美味しい笑顔、お点前をした方もうれい笑顔になります。これから他の利用者さんに喜んでもらうお茶会を予定しています。  
(廣瀬支援員記)



和菓子を出す所作も丁寧に。



★加藤先生から一言★  
一人一人に特徴があり、一生懸命な姿を見るのが嬉しいです。

# 四ツ葉園だより

## サーカス観覧

北日本新聞社とポップサーカスからご招待があり、ポップサーカス富山公演を八グループに分かれて見に行きました。世界が喝采を贈る至高のパフォーマンスやステージの迫力に、利用者の皆さんも歓声を上げる方、自ら手拍子をされる方など、それぞれに公演を楽しんでおられました。

(高木係長記)



# 雷鳥苑だより

## 赤十字奉仕団 交流会

八月一日(木)  
に立山町赤十字  
奉仕団活動が雷  
鳥苑で開催され、  
今年立山町小学校  
の児童十七名と交流  
会を行いました。

は、利用者の皆さんの日頃の活動を見て「すごい」「大変」と言った言葉が聞かれ、一人の児童に「暑くても雪が降っても毎日しているんだよ」と言うどびっくりしていました。工芸班活動では、新川会で育てたラベンダーを使用してポプリ作り体験を行い、完成したポプリを手にして喜ぶ姿が見られました。工芸班の利用者さんにも教えてもらいながら、お互い照れる場面も見られましたが笑顔で交流することができました。

午後恒例の七夕飾りを一緒に飾り、様々



な願い事やカラフルな七夕が出来上がりました。利用者の皆さんも毎年、楽しみにしている行事でもあり楽しいひとときを過ごしました。

## 子どもボランティア 体験学習会

八月五日(月)に社会福祉法人立山町社会福祉協議会主催の「子どもボランティア体験学習会」が雷鳥苑で開催されました。立山町の小学生が障害を抱えている方々と交流することを目的とした今年初めての行事です。当日は「越中すえ太鼓」の皆さんが演奏



を披露され、圧巻のパフォーマンスを見ることができました。雷鳥苑の利用者さんも一緒に太鼓を叩かせていただき初めての経験に「楽しい」「またやってみよう」と興奮しておられました。短時間の交流となりましたがとても楽しい時間となりました。

(松岩主任記)

# 工房よつばだより

## 遠足

六月二十一日、皆さんが楽しみにしていた遠足の日でした。今年の遠足は思い切って県外へ進出！石川県まで行ってきました。工房よつばを出発し、バスに揺られることおよそ二時間、能登食彩市場に到着し昼食です。ステーキ屋さんにてステーキセットをいただきながら「美味しいね」と自然と会話も広がりました。

昼食を終え再度バスに乗り、のどじま水族館に移動です。移動の車中では「〇〇を見たい」「お土産を買いたい」と、行ったことがある人もない人も、それぞれ楽しみにしておられる様子でした。

のどじま水族館に到着後、班ごとに館内を見学して回り、ナマコや貝、カニ等の海の生き物に実際に触れたり、ペンギンの散歩の様子を見学したりしました。

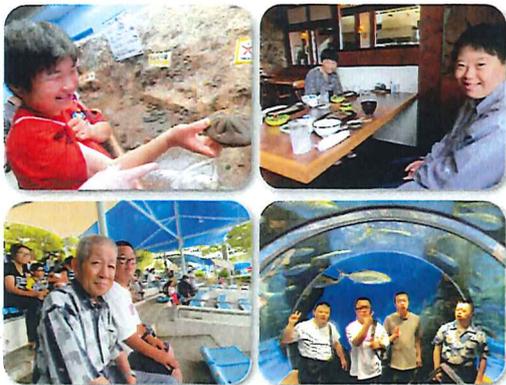
水族館のメインイベントであるイルカ・アシカショーでは四頭のイルカとアシカが、輪くぐりやボールを使った技等を次々

に披露し、皆さんしきりに「すごい！」と歓声を上げておられました。

最後には自分用、家族用とお土産を吟味して選び、帰宅しました。

後日遠足の感想を書いてもらったところ「ご飯が美味しかった」「ペンギンかわいかった」「お土産が買って嬉しかった」「イルカとアシカはお客さんに見せるためにたくさんショーの練習をしてくれてすごいと思った」など皆さんそれぞれの楽しかった思いが伝わってきました。

暑い日でしたが様々な経験ができ、リフレッシュできたことと思います。(朝岡支援員記)



# さつき苑だより

## 遠足

六月二十五日  
(火)に遠足へ  
行ってきました。

今年、北陸電力のワンダーラボと中央植物園に行きました。

ワンダーラボでは、実験教室を行いました。難しい話に緊張していた利用者さんも、空気砲の実験や水の動き実験などを体験することに、新しい発見に目を輝かせていました。

ラボ内の飛び出す映画も皆さん集中して見ておられ、あつという間に時間が経ちました。

昼食は、富山第一ホテルの中にある『松川』で美味しいご飯を食べました。

中央植物園では、珍しい植物を観察して来ました。皆さん笑みの絶えない時間になりました。



## 畑作業

今年の夏はとても暑く、利用者さんにも野菜にも過酷な年になりました。

今年、生活介護の利用者さんも畑に出て収穫や草取りを行っています。土をいじり、野菜を収穫し、一生懸命協力してくれます。畑へ行くこと皆さんとても嬉しそうで、自分から「畑へ行きたい」と言ってくれる利用者さんも増えていきます。



もちろん暑い中草刈りや植え付けを頑張ってくれている、就労の利用者さんも、汗だくになりながら毎日頑張ってくれています。  
(酒井主任記)



# つつじ苑だより

## トランポピクス

今年度より新たな取り組みとしてトランポピクスを行っています。

一人用のトランポリンを使用し、音楽を聴きながら、また、コーチの振り付けを見ながらトランポリン上で運動を行います。

トランポリンには、ダイエット効果が高いこと、リンパ液の流れが良くなること、肩こりや背中、腰の痛みが軽くなること、体幹トレーニングなので姿勢が良くなること、骨密度が高くなるなどたくさん効果があり、アメリカ航空宇宙局の研究でも実証されています。

実際行ってみると、音楽が絶対不可欠なことがあげられます。トランポリンとコーチの声だけでは、持続性やモチベーションの低下が考えられ、音楽があつてのトランポピクスだと感じます。基本的な運動で言えば、五分間歩いたり跳んだりするだけでもたくさん汗をかくことがで

き、かなりの運動量が得られました。

効果はもとより利用者さんが積極的にトランポリン上で音楽を聴きながら自然に身体が動く楽しさこそ最大の効果だと言えます。

今後も継続してトランポピクスを行っていく、機会を設けて発表ができたかと考えています。  
(宮川支援員記)

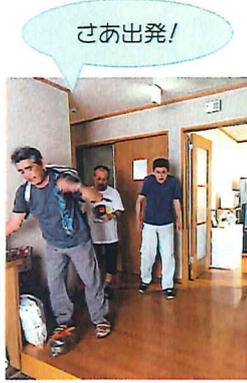


# 共同生活支援室だより

## 災害に備えて

六月、各グループホームで災害時避難訓練を行いました。

今年度、グループホームで暮らす皆さんは、上市町、立山町の避難行動要支援者（援護者）リストに加入しました。それをきっかけに、非常用持ち出し袋の整備や、避難体制の見直しを行いました。



「町からの避難指示を受け、世話人さんの声掛けで集合し、避難する」という想定のもと、利用者、世話人、職員で、各地区指定の避難場所まで歩きました。歩いてみると、どうしても車道を歩かなくてはいけない箇所や、足元が滑りやすい、躓きやすい

箇所、道路の横断が危ない箇所等がわかり、自分たちの足で確かめることの大切さを実感しました。何より実際の避難場所へ行ってみたことが良い経験となりました。

自分たちの住んでいるところは大丈夫と誰もが思うことです



が、備えあれば憂いなしということ、今後とも防災・減災への意識を高めていきたいと思えます。  
(藤木施設長記)



足元に気をつけて!

## 研修報告

### ペアレント・トレーニングとは

四ツ葉園支援課 井原 梨絵

七月二十七日（土）に特別支援教育に関する研修会へ参加しました。

特に私が今後支援の中で取り入れていきたいと感じたのは、ペアレントトレーニングです。ペアレントトレーニングとは、子育ての悩みを解決するためのプログラムです。例えば朝の時間を思い出し

てください。大人は朝から忙しく、子供が起きて朝の準備をしていても褒めることはあまりないでしょう。ですが、なかなか起きない、朝食中にテレビを観て朝食を食べ始めない時には叱ることが多いのではないのでしょうか。子供からすると、怒られた印象のみ残ってしまいます。当たり前の行動をとっている時にこそ声をかけ、褒めることが大切なのです。褒め方は子供に対して実況中継をするところをお勧めされました。「起きたね」「着替えられたね」「ご飯食べられたね」など子供の行動を追って声をかけます。子供はできたという達成感を味わえ、また、親からしっかり自分を見てもらえていると感じることができ



ます。また、全部できた時に褒めるのではなく、二十五%できたら褒める、五十%、七十五%と、こまめに褒めます。そうしていくことで問題行動が起こることを未然に防ぐことができるかもしれません。